

インターネット出願の説明 (3)

平成 20 年度特許制度運用協議委員会

委員長 林 篤史



— 目 次 —

1 章 インターネット出願に必要な回線, パソコン, OS,
インターネット出願ソフトの入手方法

- I インターネット出願に必要な回線
- II インターネット接続パソコンの準備
- III インターネット出願ソフトの入手手順

2 章 インターネット出願に利用可能な電子証明書とその
選択方法

- I 電子証明書
- II インターネット出願に利用可能な電子証明書
- III 電子証明書の選択にあたっての注意点
- IV 扱い易い電子証明書

3 章 個々の認証局からの電子証明書の入手方法及び扱い
方

- I 電子証明書入手にあたっての共通事項
- II 日本認証サービス(株)ーファイル形式の電子証明書ー
- III 日本商工会議所ーファイル形式の電子証明書ー
- IV (株)中電シーティーアイーファイル形式の電子証明書ー
- V セコムトラストシステムズ(株)ーファイル形式の電子
証明書ー
- VI 公的個人認証サービス (住基カード)
- VII 法人電子証明書
- VIII 入手した電子証明書の扱い
- IX 電子証明書入手にあたっての管理
- X まとめ

ー以上, 6月号掲載ー

4 章 インターネット出願ソフトのインストール, 環境設
定及び旧資産の取り扱いについて (97 ページ)

- I インターネット出願ソフトのインストール
 - 1. はじめに
 - 2. インターネット出願ソフトのインストール
 - 3. インストールにあたっての注意点
- II インターネット出願ソフトの環境設定
 - 1. はじめに
 - 2. 「フォルダ」の設定
 - 3. 「通信」の設定
 - 4. 「認証」の設定
 - 5. 「起動/画面」の設定
 - 6. 「入力」の設定
 - 7. 「出力」の設定

8. 終了

III ひな型のインストール

IV 旧資産の取り扱い

- 1. はじめに
- 2. 旧資産の移し方
- 3. 注意点等

5 章 申請人利用登録 (101 ページ)

I 申請人利用登録の準備

- 1. 申請人利用登録の準備
- 2. 申請人利用登録の流れ

II 申請人利用登録

- 1. 電子証明書 (ファイル形式) の場合
- 2. 電子証明書 (IC カード形式) の場合
- 3. 同一の電子証明書を複数台のパソコンで使用する場合
- 4. 複数の電子証明書を複数台又は同一のパソコンで使
用する場合

III サービスメニュー設定

IV 識別番号リストメンテナンス (電子証明書 (ファ
イル形式) のみ)

- 1. 証明書ストア参照先の変更
- 2. 識別番号の削除
- 3. 識別番号の追加

6 章 GUEST モード, 料金納付方法, 電子証明書の管理,
およびインターネット出願ソフトの PCT - RO へ
の対応 (109 ページ)

I GUEST モード

- 1. GUEST モードとは
- 2. 利用方法

II 料金納付方法

- 1. 納付種類
- 2. 口座振替納付
 - (1) 口座振替納付とは
 - (2) 事前手続き
 - (3) 口座振替を利用した納付方法
 - (4) 口座振替のメリット
- 3. 電子現金納付

III 電子証明書の管理

- 1. 電子証明書管理の概要
- 2. 電子証明書の追加
- 3. 電子証明書の利用停止
- 4. Pin の変更

Ⅳ インターネット出願ソフトの PCT-RO への対応

Ⅴ 終わりに

—以上、7月号掲載—

7章 PCT-SAFE による PCT-RO インターネット出願

I PCT 出願の手続き方法

II PCT-RO インターネット出願の利用準備

1. 概要
2. インターネット回線とパソコンの準備
3. 電子証明書の入手
4. ソフトの入手・インストール・環境設定
 - ① インターネット出願ソフト
 - ② PCT-SAFE 専用証明書ストア作成ツール
 - ③ PCT-SAFE
 - ④ PCT-RO・XML コンバータ
5. インストールにおける注意事項

III 出願の流れ

IV PCT-SAFE を利用する利点

7章 PCT-SAFE による PCT-RO インターネット出願

平成 22 年 3 月末をもってパソコン出願ソフト 3 を利用した電子出願手続きが廃止され、インターネット出願ソフトによる手続きに一本化されることを機に、先月号および今月号でインターネット出願の説明を行ってきました。

最終章となる本章では、インターネット出願ソフトとは直接的に関係しないものの関連性の高い PCT-SAFE クライアントソフトウェアを利用した PCT-RO インターネット出願について説明します。

I PCT 出願の手続き方法

現在、PCT 国際出願は以下の方法により手続きが可能です。

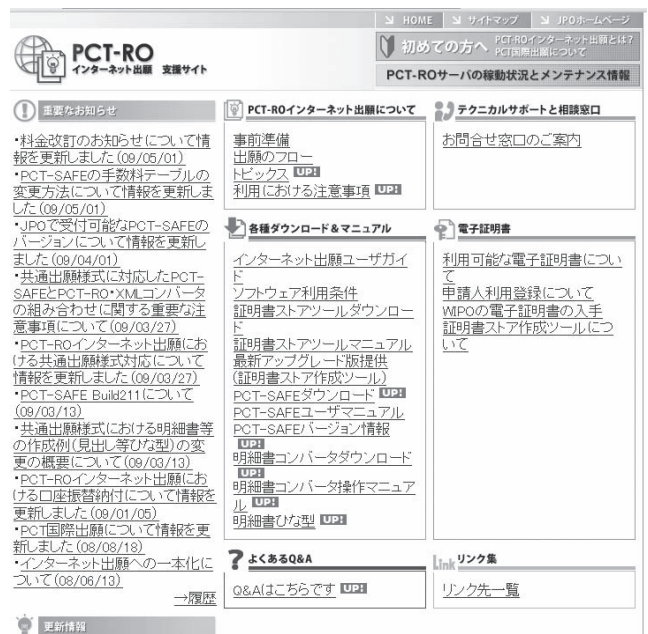
	提出方法	言語
書面	① 書面のみ	日本語 英語
	② PCT-SAFE EASY モードを利用し、書誌事項および要約を格納した FD を添付	日本語 英語
オンライン	③ パソコン出願ソフト 3 を利用	日本語
	④ PCT-SAFE を利用	日本語 英語

オンラインによる手続きが可能なものは表中③および④となりますが、③パソコン出願ソフト 3 を利用したオンライン出願は、平成 22 年 3 月末で利用できなくなりますので、ここでは④ PCT-SAFE を利用した

オンライン出願について概要を説明します。

PCT-SAFE を利用したオンライン出願は、PCT-SAFE により出願書類を作成しインターネットを通して PCT 国際出願するもので、日本国特許庁を受理官庁として出願するか、国際事務局に直接出願することが可能ですが、ここでは日本国特許庁を受理官庁とする PCT 国際出願（以下、PCT-RO インターネット出願）について説明します。

なお、特許庁は PCT-RO インターネット出願を支援するための専用サイト「PCT-RO インターネット出願支援サイト」を開設し、種々の情報を提供しています。



(<http://www.pctro-inet.jpo.go.jp/>)

II PCT-RO インターネット出願の利用準備

1. 概要

PCT-RO インターネット出願を利用するには、以下の準備が必要となります。

- ・ インターネット回線およびパソコンの準備
- ・ 電子証明書の入手
- ・ 下記ソフトの入手とインストール・環境設定
 - PCT-SAFE 専用証明書ストア作成ツール
 - PCT-SAFE
 - PCT-RO・XML コンバータ

インターネット出願を行うことのできる環境のない方が PCT-RO インターネット出願のみを行うことは考えにくいことから、以下ではインターネット出願環

境が整った状態を前提として、注意すべき点等を中心に説明します。

2. インターネット回線とパソコンの準備

インターネット回線は、インターネット出願で利用できるブロードバンド回線（光回線、ADSL回線等）が推奨されます。

パソコンについては、インターネット出願はWindows、Macintosh (Mac)、Linuxの各プラットフォームに対応していますが、PCT-ROインターネット出願はWindowsのみの対応となります。Windowsの利用可能なOSバージョンやパソコンの要求スペックもインターネット出願とほぼ同じです。

したがって、インターネット出願を既に行っているWindowsパソコン（4GB以上の空き容量必須）があれば、そのパソコンに所定のソフトをインストールすることでPCT-ROインターネット出願を行うことが可能です。

3. 電子証明書の入手

PCT-ROインターネット出願に使用できる電子証明書は、インターネット出願で利用できる電子証明書のうち「ファイル形式」と称されるものです。したがって、インターネット出願用にファイル形式の電子証明書を既に購入されている場合には、別途準備する必要はありません。公的個人認証サービス（住基カード）で使用されるような「ICカード形式」の電子証明書は利用できません。また、法人電子証明書についてもICカード化（日本電子認証株）すると利用できなくなる点に注意が必要です。

世界的な著作権機関（WIPO）は独自に電子証明書を発行しており、それをPCT-ROインターネット出願に使用することもできます（通常のインターネット出願には使用できません）。しかし、その証明書を利用して出願した場合には出願後の書面手続きが複数必要となるなど煩雑な点が多く、お勧めできません。

4. ソフトの入手・インストール・環境設定

PCT-ROインターネット出願には事前準備を含めて以下の①～④のソフトが必要です。

①インターネット出願ソフト

事前準備として、識別番号と電子証明書の組み合わせを特許庁に登録しておく必要があります。この登録

とはインターネット出願ソフトにおける申請人利用登録（前章参照）のことで、既に登録済の方は改めて行う必要はありません。

②PCT-SAFE専用証明書ストア作成ツール

PCT-SAFEでは、インターネット出願ソフトで利用する証明書ストアとは別の証明書ストアを利用します。PCT-SAFE専用証明書ストアはPCT-SAFEでは作成することができないため、証明書ストアを生成するためのソフトとしてこのツールが必要となります。これは独立行政法人工業所有権情報・研修館が提供しています。

このツールを入手するには、PCT-ROインターネット出願支援サイトの「各種ダウンロード&マニュアル」の「証明書ストアツールダウンロード」からダウンロード請求を行い、通知された所定ウェブページからダウンロードします（インターネット出願ソフト入手時と同様）。

ダウンロード後にインストールを行います。

インストールしたソフトを起動すると、以下のウィンドウが表示されるので、オリジナルの電子証明書を準備し、インターネット出願ソフトでの申請人利用登録時と同様の情報を加入することで、PCT-SAFE専用証明書ストアが作成されます。

PCT-SAFE専用証明書ストアは、ストアフォルダをコピーすることにより他のパソコンで利用することはできません。

なお、PCT-SAFE専用証明書ストアに登録できる電子証明書は識別番号に対して1つのみです。この点、

識別番号に対して複数の電子証明書が登録できるインターネット出願ソフトとは異なります。

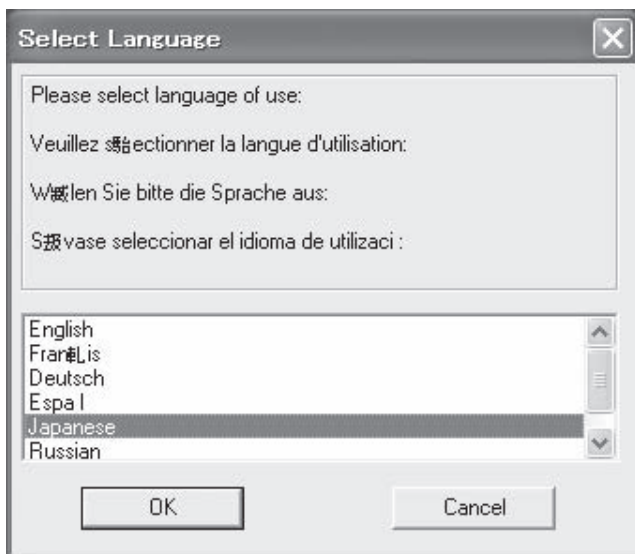
詳しくは PCT-RO インターネット出願支援サイトに掲載されている「PCT-SAFE 専用証明書ストア作成ツールマニュアル」をご覧ください。

③ PCT-SAFE

国際事務局が提供する PCT オンライン出願用ソフトウェアで、PCT-RO インターネット出願にも利用します。

PCT-SAFE を入手するには、PCT-RO インターネット出願支援サイトの「各種ダウンロード&マニュアル」の「PCT-SAFE ダウンロード」からダウンロードにより行うことができます。WIPO ホームページからもダウンロード可能ですが、我が国が受け入れを認めていないバージョンも公開されているため、推奨されません。受け入れを認めていないバージョンでは、エラーとなり出願ができません。受入れ可能なバージョンについては、PCT-RO インターネット出願支援サイトの「重要なお知らせ」から「JPO で受付可能な PCT-SAFE のバージョンについて」を随時確認してください。

ダウンロード後にインストールを行います。インストールは実行ファイルを実行後に言語選択のウィンドウが表示されるので、「Japanese」を選択し「OK」ボタンを押します。

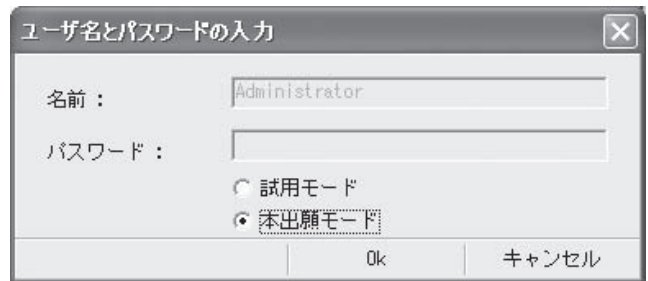


それ以降のインストール作業は既定値のままで進めて原則として問題ありません。最後に再起動が必要となります。

インストール後に PCT-SAFE を起動し、環境設定

を行います。環境設定では自動アップデート機能の停止と電子証明書の指定を行います。

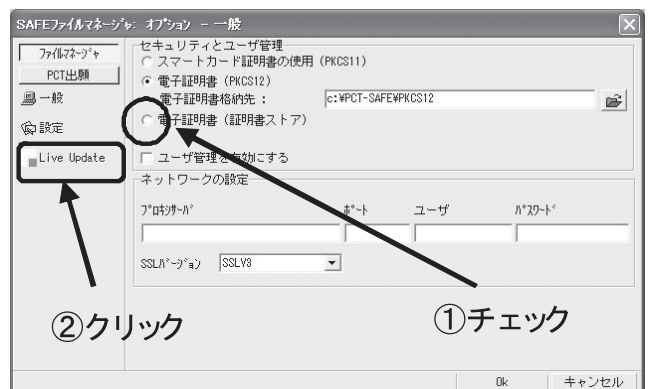
具体的にはソフトウェアを起動し、「本出願モード」であることを確認して「OK」ボタンを押します。



SAFE ファイルマネージャが起動しますので、「ツール」タブから「設定」を選択します。

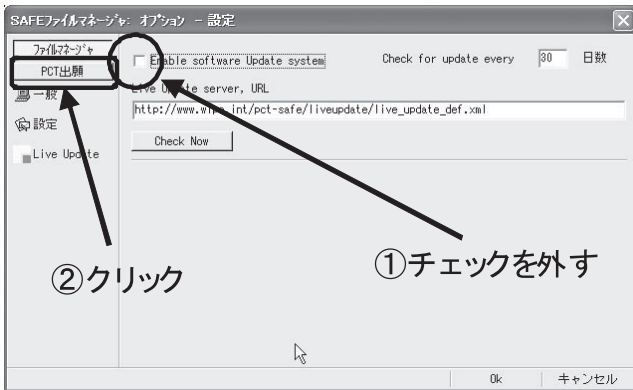


「オプション—一般」画面の「セキュリティとユーザ管理」の欄では、既定値として「電子証明書 (PKCS12)」が選択されていますが、これを「電子証明書 (証明書ストア)」に変更します。ついで「Live Update」をクリックします。

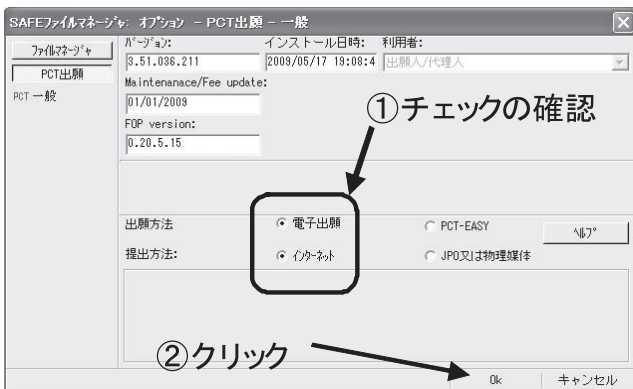


「オプション—設定」画面において、「Enable

software Update system」に入っているチェックを外します。これは我が国システムとの動作検証が完了していない新バージョンへのアップデートを自動で行わないようにするためのものです。ついで、「PCT出願」をクリックします。



出願方法が「電子出願」、提出方法が「インターネット」になっていることを確認し、「OK」ボタンを押します。



登録内容を反映させるために、プログラム（SAFEファイルマネージャウインドウ）をいったん終了し再度起動します。これにてインストールおよび環境設定は完了です。

詳しくはPCT-ROインターネット出願支援サイトに掲載されている「PCT-ROインターネット出願ユーザガイド」および「PCT-SAFEユーザマニュアル」をご覧ください。

④ PCT-RO・XMLコンバータ

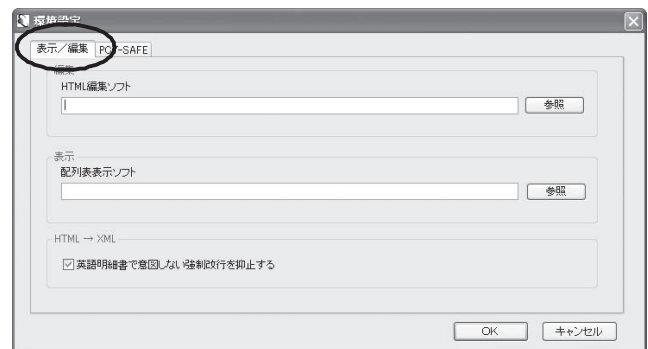
明細書等をPCT-SAFEに読み込ませるためには、明細書等は所定のXMLファイルとする必要があります。PCT-RO・XMLコンバータは、HTMLファイルをPCT-SAFE用のXMLファイルに変換する機能を

有するソフトウェアです。独立行政法人工業所有権情報・研修館が提供しています。

このソフトは、PCT-ROインターネット出願支援サイトの「各種ダウンロード&マニュアル」の「明細書コンバータダウンロード」からダウンロードすることができます。

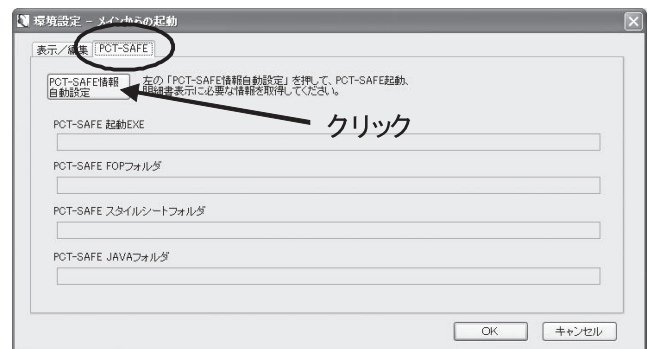
ダウンロード後にインストールを行います。インストール完了後に自動的に環境設定ウインドウが起動します。環境設定では編集・表示用ソフトの設定とPCT-SAFEの各フォルダパスの自動設定を行います。

表示／編集タブにおいて、お好みのソフトを指定します。不明の場合は入力しなくても構いません。その場合のソフトは、メモ帳（notepad）が使用されます。「HTML→XML」のボックスは原則としてチェックしておいて下さい。



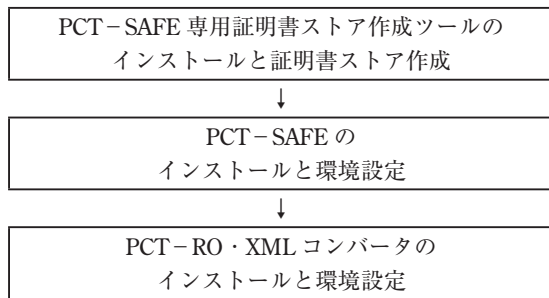
PCT-SAFEタブでは、PCT-SAFEの各フォルダパスを設定します。PCT-SAFEが予めインストールされている状態で自動設定ボタンを押すとソフトが自動的にフォルダ名を認識し設定します。それを確認して「OK」ボタンを押します。

この環境設定は後で変更することも可能です。



(5) インストールにおける注意事項

各ソフトウェアのインストールおよび環境設定は原則として以下の順序により行って下さい。

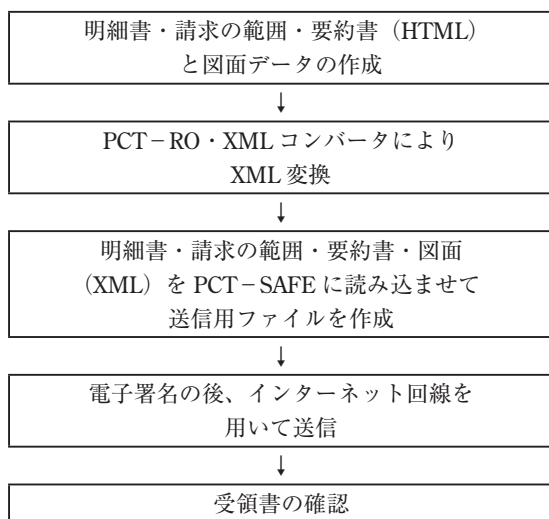


特に Windows Vista で PCT-SAFE を利用する場合には、PCT-SAFE で環境設定を起動する前に、PCT-SAFE 専用証明書ストア作成ツールをインストールしておく必要があります。PCT-SAFE 専用証明書ストア作成ツールのインストールより先に PCT-SAFE で環境設定を行ってしまうと、Windows Vista の場合、正しく利用できなくなります。誤った順序でインストール・環境設定した場合には PCT-RO インターネット出願支援サイトの Q & A に対応方法が記載されていますのでご覧下さい。

以上によりインストールおよび環境設定作業は終了です。

Ⅲ 出願の流れ

大まかな流れは以下の通りとなります。利用に際しては各ソフトのマニュアル等をご覧下さい。



Ⅳ PCT-SAFE を利用する利点

インターネット出願ソフトの平成 22 年 1 月バージョンアップ版には、PCT 国際出願機能が付加される予定ですが、パソコン出願ソフト 3 と同様に日本語による出願しかできません。

PCT-SAFE では日本語・英語の両言語によるオンライン出願が可能です。

オンライン出願することにより、国際出願手数料が減額される他、平成 21 年 7 月に発効した PCT 規則及び実施細則の改正では、配列表（所定の形式で作成必要）を含む PCT 出願をオンライン提出した場合には、配列表部分は枚数に応じた課金がされないこととなりました。したがって、英語にて配列表を含む PCT 出願する場合には、PCT-SAFE を利用した場合にのみ枚数課金が免除されることとなります。

このように、特に英語 PCT 出願を行う可能性のある方には利点が多いことから、平成 22 年 4 月からのインターネット出願ソフトへの一本化に合わせて PCT-SAFE への移行をお勧めします。

参考文献

- (1) 特許庁国際出願課「PCT-RO インターネット出願ユーザガイド」(平成 20 年 8 月 4 日)
- (2) (独) 工業所有権情報・研修館「PCT-SAFE 専用証明書ストアツール操作マニュアル」(2008 年 7 月 1 日)
- (3) 世界知的所有権機関「PCT-SAFE ユーザマニュアル 電子出願モード」(2006 年 10 月)
- (4) (独) 工業所有権情報・研修館「PCT-RO・XML コンバータ操作マニュアル(第 01. 30 版)」(平成 21 年 4 月)
- (5) (独) 工業所有権情報・研修館「インターネット出願ソフト (i161 版)「操作マニュアル」」(平成 21 年 4 月)
- (6) 改訂版「インターネット出願」(斎藤美晴著, 平成 21 年 5 月 (社) 発明協会発行)
- (7) 「Microsoft」及び「Microsoft Windows 2000, Windows XP, Windows Vista」は Microsoft Corporation の米国その他の国における登録商標又は商標, 「Mac, MacOS」は米国その他の国における Apple Inc. の登録商標又は商標, 「Linux」は Linus Torvalds 氏の米国その他の国における登録商標又は商標です。

(原稿受領 2009. 7. 7)